

A Side Street Story

とある誘拐事件を巡り、それぞれの目的を持ったキャストたちが協力しあう、スタンダードなストリートシナリオだ。

(掲載日：2017.7.9)

プレアクト情報

PRE-ACT INFO

■シナリオ基本情報

▼作者

ぼろろっか (twitter : @poro0312)

▼プレイヤー人数

3人

▼想定プレイ時間

2～3時間程度

▼シナリオタグ

3人用シナリオ、ストリート、誘拐事件

●このシナリオについて

シンプルで分かりやすいストーリーに、フェイト・イス・カタナという、登場頻度の高い推奨スタイルのキャストが協力し合うという、スタンダードなシナリオだ。少人数で遊べるため、初心者用としても重宝できるだろう。

●シナリオレギュレーション

本シナリオの想定レギュレーションを以下に記載する。ただし、使用するデータの変更やRLが調整を行った場合、改めてレギュレーションを提示すること。

▼使用経験点

0～30点程度

▼達成値制限

制限なし。ゲストの最大達成値は21である。ただし、支援によりこれを超えることがある。

▼RLが使用するサブリメント

「TNX」「TOS」「CTL」

■アクトトレーラー

キャスト作成の前に、アクトのイメージを膨らませるため、以下のアクトトレーラーを読み上げる。これはアクトのイメージを膨らませるのに役立つ。

1秒に一度、裏路地では善良な市民がキャッシュを巻き上げられ、
2秒に一度、ストリートでは利権絡みのレッガー共の抗争が起き、
3秒に一度、近所の銀行には強盗が押し入る
それもこの街 - トーキョー N◎VA- では日常茶飯事の出来事…

今日も身代金目的の凶悪な誘拐事件が発生する。
全ては完璧な計画のはずだった。そう奴らの邪魔さえ入らなければ…

トーキョー N◎VA THE ACCELERATION 『A Side Street Story』

かくて運命の扉は開かれた。

■キャスト作成

プレアクトシート（アクトトレーラー、ハンドアウトなど）を参考にキャストを作成すること。

●クイックスタート

本シナリオでは、以下のサンプルキャストを使用することを推奨する。

『①フェイト』：不屈の探偵（『TNX』p82）

『②イヌ』：正義の猟犬（『TNX』p84）

『③カタナ』：現代の騎士（『TNX』p90）

●必要な神業

本シナリオでは、ゲストが使用する即死系神業だけでキャストが死亡するのを防ぐため、キャスト全員で2個以上の防御系神業を所持することを推奨する。

また、『真実』については使用を想定したシーンが存在する。

●主に使用する技能

本シナリオの情報収集で主に使用する社会技能は、〈社会：警察、ストリート〉などである。

■キャスト間コネクション

以下の順番で取得すること。

『①フェイト』→『②イヌ』→『③カタナ』→『①フェイト』

アクトハンドアウト

各キャストには右記の設定が推奨・あるいは追加される。
キャスト作成時によくプレイヤーと相談すること。

各キャストには、以下の設定が推奨・追加される。

『①フェイト』：N◎VAの探偵

『②イヌ』：ブラックハウンド機動捜査課の刑事

『③カタナ』：ストリートの荒事屋

①推奨スタイル：フェイト

SCENARIO HANDOUT

コネ：エミリー

推奨スト：感情

キミはトーキョーN◎VAで探偵をやっている。近所の子供達に好かれている君の事務所は絶好の遊び場だ。ある日、リーダー格の少女エミリーから、相談事を持ちかけられる。

【PS：エミリーの依頼を果たす】

②推奨スタイル：イヌ

SCENARIO HANDOUT

コネ：“暴走課長”レイ

推奨スト：理性

君は光と闇が交錯する街“トーキョーN◎VA”の治安を守る警察機関ブラックハウンドの隊員だ。先日も高速強盗団：キャノンボールを壊滅させたばかりだというのに、再び隊長のレイから呼び出された。なんでも誘拐事件が発生したという。

【PS：誘拐事件を解決する】

③推奨スタイル：カタナ

SCENARIO HANDOUT

コネ：式星妙義

推奨スト：外界

君は、ウェットワークス・殺し-を生業とするストリートでは名の通った荒事屋だ。今日もお得意様のエグゼクから仕事がいっぱい。何、君にとっては2秒で片付く簡単な仕事に違いない。

【PS：仕事を果たす】

RL用テキスト

TXT4RULER

■ストーリー

イワサキの職員だったホーラは、度重なる不手際により上司であった式星妙義から解雇を言い渡される。ホーラは、復讐を果たすべく、元高速強盗団：キャノンボールの構成員だったゲラバを引き込み、妙義の娘である麗美の誘拐を計画する。しかし、誘拐ポイントで偶然居合わせた少女エミリーと取り違えて誘拐してしまう。

一方、麗美が狙われたと知った妙義は『③カタナ』にホーラ達の始末を依頼する。ホーラ達を倒し、エミリーを救い出したらシナリオクリアとなる。

■クライマックスへの条件

ホーラのセーフハウスのアドレスを突き止め、そこへ向かったら、クライマックスフェイズに移行する。

オープニングフェイズ

OPENING PHASE

●オープニング1：依頼

シーンプレイヤー：『①フェイト』

登場：不可

◆解説

描写1と描写2に分かれている。前半は、『①フェイト』の日常を演出し、久しぶりに姿を見せたエミリーが『①フェイト』に依頼を頼むシーン。エミリーを観察することで手の平に傷があることがわかる。後半は、エミリーがヤオヨロズモールで誘拐されるシーン。〈知覚〉の判定に成功することでワゴン車に轢かれそうになる所を回避できる。

◆描写1

君はN◎VAで探偵をやっている。近所の子供達に好かれている君の事務所は絶好の遊び場になっており、今日も沢山の小さいお客達が賑わっている。

そんな中、最近、リーダー格の女の子エミリーの姿を見かけない。

▼セリフ：トム

「ねえ、ねえ、お兄さん（お姉さん）、今日は何をして遊ぶ？」

▼セリフ：ケイト

「あっ冷蔵庫にケーキが入ってるー。もらっちゃおう」

▼セリフ：エミリー

「『①フェイト』、久しぶりー。元気してた？」後ろから筒状に丸めた電子雑誌（*1）で軽く頭を叩く（最近、顔を見せないことを尋ねた）

「私だって忙しいんだもん」

「それより今日はちょっと『①フェイト』に相談に乗ってほしいんだ（他の子供達がいなくて居間の方へ連れ出す）」

「実はお母さんが今病気で入院してて・・・それで弟の面倒とか見たりしてて最近なかなか来れなかったんだ・・・」

「それでね。お母さんを元気づける為に、斑鳩のヤオヨロズモールにプレゼントを買いに行きたいんだけど一緒に来てくれない？」

（理由を尋ねた）

「私・・・C-ランク市民（*2）だし、斑鳩とか行ったことないし・・・でも、『①フェイト』と一緒になら怪しまれないでしょ？」

「も、勿論ただとは言わないよ。これ、少ないけど・・・（手に握りしめた1シルバーのキャッシュを差し出す）」（依頼を受けた）

「ほんと？ありがとう。『①フェイト』!!」

「じゃあ、約束だからね」

◆処理

『①フェイト』は報酬点1点を入手する。

エミリーをよく観察した場合〈知覚〉で目標値：8の判定を行わせる。

成功→手の平に擦り傷とかがたくさんあるのがわかる。長い時間、作業をしていたのだろう。ということがわかる

◆結末1

一緒にヤオヨロズモールに行く約束をした所で、シーン終了

◆描写2

君はエミリーに連れられ、グリーンエリアにあるヤオヨロズモール斑鳩に来ていた。ここはN◎VAでのコンビニ最大手ヤオヨロズグループが最近完成させた巨大なショッピングモールだ。

今日もファミリー連れから、上流階級の人まで様々な人が訪れている。

エミリーは、いつもの活動的な格好ではなく、少しだけおしゃれをしているようだ。

そんなことをしていると、君達の前を黒塗りの高級車：プレジデンシャルが停車する。

（*1）電子雑誌

折り曲げられる端末（フレキシブルペーパー）の一種。レミーの愛読雑誌である。

（*2）C-ランク市民

『①フェイト』の市民ランクはBかCを想定しているが、設定によってはC-やXの場合もあるだろう。その場合は、『①フェイト』が大人であり、不安なので付いてきて欲しいと理由を説明すれば良い。

日除けのヴェールを頭に被った少女と御付きの黒服数名が降りてくる。君の前を通り、そのままモール内に入っていく。

その後、エミリーは道路を挟んだお店の前まで駆け出す。

▼セリフ：エミリー

「どう？ 似合う？ 実は、これ雑誌の付録に付いてたもんなんだ」

「といってもほんとは無地のシャツしか着てなくて、インストールしたアプリからその日の気分に合わせて好きなファッションを身に付けられるんだよ。すごいでしょ？」

「今日の私はモデル気分、なんてね」

「すごい。一体どこの人なんだろうね？」

「『①フェイト』、早く早く！ こっちだよ」

（ワゴン車に押し込まれた）

「『①フェイト！』」

▼セリフ：麗美

「すみません、失礼しますわ」

▼セリフ：仮面の男

「式星麗美だな？ 一緒に来てもらおうぞ！（次の瞬間、ワゴン車から仮面を被った一人の男（*3）が現れ、エミリーを後部座席に押し込んだ。）」

◆処理

『①フェイト』が道路を渡ろうとすると、〈知覚〉で目標値：10の判定を行わせる。

成功→君は道路を横切ったワゴン車に気付き回避できる

失敗→君は道路を横切ろうとしたワゴン車に気付かず引かれた（I：山札 3の肉体ダメージ）

◆結末

そのままワゴン車はその場を走り去った。男 B（ゲラバ）が《脱出》を使用する。（*4）

●オープニング2：ウェットワークス

シーンプレイヤー：『③カタナ』

登場：不可

◆解説

式星妙義が『③カタナ』にホーラの始末を依頼するシーン

◆描写

君は、ウェットワークス・殺し・を生業とするストリートでは名の通った荒屋だ。仕事の依頼を受ける為、巨大な高層ビル群が立ち並ぶ中央区オフィス街にやって来た。その中でもモダンな外観が特徴のイワサキアーコロジーの255階からはN◎VAの町並みが一望できる。通された部屋には、君に背を向けつつ外の景色を眺める一人の男が立っていた。そう、君の依頼人、式星妙義その人だ。

▼セリフ：式星妙義

「来たか？ 『③カタナ』。3分遅刻だ。まあ、いい」

「単刀直入に伝えよう、これを見てくれ（AR上に一通の電子メールが拡大表示される）」

▼セリフ：-電子メール-

「娘は預かった。24時間以内に100プラチナを用意しろ。さもなくば、娘の命はない。また追って連絡をする。誘拐犯より」

▼セリフ：式星妙義

「こんなメールが送られてきたわけだが・・・。入んなさい、麗美」

「ごほん。麗美、余計なことは言わなくていい」

「下がっていいぞ」

「まあこの通り、娘は無事だ。全く不屈きな輩だ。」

「局の部下を使ってメールの発信元を逆探知させた。場所はレッドエリアのスラム街という所までは突き止めたものの、偽造IDと盗難タップを使用されていた。身元の割り出しにはもう少し時間がかかる。もっともおまえの伝手を使えばもっと早く割り出せるだろう」「さて、ここまで聞いて大体の話の概要はわかっただろう。報酬は1ゴールド」

「迅速に始末しろ（鋭い視線を向ける）」

「安心しろ。多少派手にやっても痕跡は全て消しておく。まず君に嫌疑がかかることはない。また、早速黒い犬（*5）も事件を嗅ぎつけたらしいが、こちらで釘を刺しておく。」

「『③カタナ』・・・一つ聞いていいか？ おまえにとっての正義とはなんだ？」

（『③カタナ』何か答えた）

「くっくく。そうか、まあ、おまえのことだ。きちんと仕事はこなしてくれるだろう」

▼セリフ：麗美

「失礼いたします。あなたが『③カタナ』様ですのね。優秀な仕事仲間だとお父様からお噂はかねがねお聞きしておりますわ」

「噂通りとても素敵な方ですのね」

「それでは『③カタナ』様、また後ほど（麗美は退室する）」

◆処理

『③カタナ』は報酬点5点を入手する。

◆結末

『③カタナ』が依頼を引き受け、退出した所で、シーン終了

（*3）仮面を被った一人の男

ホーラの事である。ヤオヨロズモール現場のあるグリーンエリアはセキュリティレベルの高い場所であり、周辺には多くの監視カメラや公衆DAKが存在する。仮面を被つてくれないが、到底正体を隠すことはできないが、偽造IDと盗難タップを使用していることで慢心している。

（*4）《脱出》を使用する

PLが神業を使って誘拐を止めたいと提案してきた場合、敵ゲスト側が神業で対抗してくると告げると良い。もしそれでも即死系神業を使用した場合、ゲラバは《脱出》を使用して、シーンを退場した後、〈タイムリー〉で生き返らせる。また、PC側の戦闘力が高いようなら、このシーンでは《脱出》を使用せずに演出だけに留め、クライマックスで防衛系神業として使用してもよい。

（*5）黒い犬

妙義はブラックハウンドの事をこう呼んでいる。イワサキのエグゼクという立場上、あまり探られたくないと思っている。

●オープニング3：イヌの日常

シーンプレイヤー：『②イヌ』

登場：不可

◆解説

レイが『②イヌ』に調査を依頼するシーン

◆描写

君は光と闇が交錯する町"トーキョーN◎VA"の治安を守る警察機関ブラックハウンドの隊員だ。ある日、隊長のレイから呼び出された。

君がレイの部屋に入ると机の上には、山高く積み重ねられた書類があり、あわよくば君に書類の整理を手伝ってもらいたいという期待の眼差しを向ける。

▼セリフ：レイ

「『②イヌ』、来たか？」

「先日はお手柄だったな」

「忘れたのか？キャンノポール（*6）の殲滅作戦では大活躍だったじゃないか？」

「おいおい、そんな謙遜するな。こう見えてオレはお前のこと貰ってるんだぜ」

「それで、今日呼んだのは別件だ。実はつい3時間ほど前に、誘拐事件が発生した」

「あーそれが妙なんだ。普通、こういう類の事件が起きたら被害者宅は大体こちらに対して協力的なもんだが・・・どうもその事実そのものを隠したがつているようなんだ」

「ほんととはオレが現場に行きたい所なんだけどよ。この間のキャンノポールの一斉検挙の後始末がこんなに残っててよ。まったくあいつら派手にやってくれたもんだ」

「それとも俺が行っていいなら、こっちの処理をお願いしてもらってもいいが？」

（断った）

「そうか・・・ならそっちはおまえに任せた。すぐに現場に向かってくれ」

「事件の情報については、後でデータを送っておくよ」

◆結末

調査を引き受けた所で、シーン終了

（*6）高速強盗団キャンノポール

詳しくはTOS P27を参照するとよい。

No Image

▼設定

「さーて、今日も一日がんばろうよ！」

スラム街に住む少女。年齢は14才。子供達のリーダー角で、小さい子達からも慕われている。

性格は、明るくて活発。家に籠っているより、体を動かす方が好きなアウトドア派。

流行に敏感で、雑誌『ニューロウィークリー』を愛読しており、髪型や服装などを頻繁に変えて楽しんでいる。

■エミリー

エキストラ

No Image

▼設定

「お稽古事も嫌いではありませんわ・・・」

グリーンエリアの高級住宅街に住んでいる式星妙義の一人娘。年齢は14才。

ボニーテールの髪型が特徴の女の子。性格は、大人しく、お嬢様言葉を使う。

普段、どこへ行くにも護衛の黒服達と一緒にで自由がない為、外の世界へ憧れを抱いている。

■式星麗美

エキストラ

No Image

▼設定

「3分遅刻か・・・」

イワサキ情報処理部のエグゼク。堅物として知られており、いつも近寄りかたい雰囲気を出している。

性格は少々神経質で、時間には正確。仕事は冷静沈着に淡々とこなす。

一方で、娘を溺愛しており、目に入れても痛くないほどだ。

■式星妙義

エグゼク◎、クロマク●、ニューロ

リサーチフェイズ

RESEARCH PHASE

●イベント1：取り消し命令

条件：リサーチフェイズの最初のシーン

シーンプレイヤー：『②イヌ』

登場：『②イヌ』による／SR：『②イヌ』による

◆解説

式星妙義からブラックハウンドへ圧力がかかることを匂わせるシーン

◆描写

現場に急行するイヌにレイからポケットロンに連絡が入る

▼セリフ：レイ

「『②イヌ』か？ああ、そのままでもいい。聞いてくれ。誘拐事件の件だが、さっき誘拐された娘の父親である式星妙義から連絡があって被害者は無事に開放されたそうだ」

「だから捜査は打ち切ってくれと言われた。けど、この事件何か裏がありそうだ。おまえの方で独自に調べてくれないか？」

「まあ、オレの杞憂ならそれでいいさ。捜査費用は口座の方に振り込んでおいた。では、引き続き頼んだ」

◆処理

『②イヌ』は報酬点3点を入手する。

◆結末

レイとの会話が終わったら、シーン終了

●イベント2：誤算

条件：「●イベント1：取り消し命令」次のシーン
ルーラシーン

登場：不可

◆解説

ホーラとゲラバがエミリーを誘拐した直後のシーン。

二人の会話をコミカルに演出するといふ。尚、このシーンではまだ正体を明かさない。

◆描写

ストリートを勢い良く走っている1台のワゴン。運転席と助手席には二人の男。後部座席には、両手を縛られ、口には猿轡を付けられた少女が横たわっている。

▼セリフ：男A(ホーラ)

「ひゃっはーうまくいったぜ。全く誘拐なんてチョロいな。これで貧乏生活ともおさらばだ（仮面を外しながら）」

「おい、いつも言ってるだろ！ ポスと呼べポスと」

「しかし、これで身代金をたんまりもらったら豪遊しようぜ。そうだなーまずはウェットシティーでたらふ

く天然の日本酒で乾杯だ。日本人のゲイシャでも侍らせてよ」

「ふはは、そうだろそうだろ」

「おーなんでも好きなだけ買いな！」

▼セリフ：男B(ゲラバ)

「さすがアニキですぜい。（ハンドルを切りながら）」

「へ、へい、ポス！」

「さっすがアニキ。キャッシュの使い方が違いますぜ」

「なら、あっしはこいつに積んでる搭載兵器でも新調したいですぜい」

◆結末

そのままワゴンはストリートを走り去っていく

●イベント3：現場の痕

条件：誘拐の事件現場へ向かった

シーンプレイヤー：事件現場へ向かったキャスト

登場：〈社会：企業、ストリート〉／SR：グリーン

◆解説

【誘拐事件の詳細】を入手できる。

◆描写

現場付近では、清掃用ドローンが総力を挙げて清掃の真っ最中だ。タイヤ痕の跡も綺麗に消されている。辺りは何事もなかったかのように片付けられ、いつもの賑わいを見せている。

現場付近には、数多くの防犯カメラが設置されており、解析ができれば、事件当日の様子を知ることができそうだ。（*7）

◆処理

情報項目【誘拐事件の詳細】を入手する。

◆結末

（【誘拐事件の詳細】の情報収集に成功した→）防犯カメラの解析結果の描写をしたら、シーン終了

（【誘拐事件の詳細】の情報収集に失敗した→）防犯カメラの強固なセキュリティに阻まれた。解析には、もう少し時間がかかりそうだと伝え、シーン終了

（*7）事件当日の様子を知ることができそう

情報の入手方法について。〈交渉〉なら防犯担当者に聞く、〈電脳〉なら防犯カメラを解析するなどキャストが得意な方法で判定させると良い。ヤオヨロズモール側は風評被害が発生しないなら、キャスト達に協力する。

●イベント4：殺し屋の情報網

条件：『③カタナ』が情報収集を行った

シーンプレイヤー：『③カタナ』

登場：『③カタナ』による／SR：『③カタナ』による

◆解説

情報屋アパート・ゲイツが『③カタナ』に接触してくるシーン。尚、キャストがすでに合流しているなら、省略してもよい。

◆描写

情報屋アパート・ゲイツは、君がよく情報を仕入れるいつもグレーのロングコートとニット帽を被っている中年だ。君が行きつけのバーでお酒を飲んでいと隣に座る。

▼セリフ：ゲイツ

「よう・・・『③カタナ』。久しぶりだな」

「マスター、テキーラをロックでもらおうか。」

「だいぶ強い酒を頼んだと聞いた。」

（協力を求められた）

「勿論、あんたの頼みだ。断るわけがないだろ」

▼セリフ：マスター

「テキーラ、ロックです（お酒を差し出す）」

◆処理

『③カタナ』に情報収集判定をするように促す

◆結末

『③カタナ』が店を出た、あるいはキャスト同士で会話をを行った所で、シーン終了

●イベント5：ブラックリスト

条件：情報項目【誘拐事件の詳細】を入手した後で、式星妙義と連絡を取った

シーンプレイヤー：任意

登場：〈社会：企業、ストリート〉／SR：ホワイト

◆解説

誘拐犯の心当たりについて式星妙義から聞き出すシーン。

〈交渉〉〈コネ：式星妙義〉で目標値：14の判定に成功することで「ブラックリスト」の提供を受ける。直接依頼を受けた『③カタナ』が判定を行う場合、目標値：12となる。情報項目【ホーラ】を入手する。

◆描写

もしかしたら式星妙義には犯人に心当たりがあるかもしれない。君は、ポケットロンで式星妙義に連絡を取った所、秘書が対応した。妙義は、盗聴を警戒し、通信による交渉には応じようとしな。秘書を通じ、イワサキアークロジまで来るように促される。

イワサキアークロジ 255 階の応接間でキャスト達が待っている所へ式星妙義がやってくる。しばらくすると、麗美が部屋に入ってくる。

▼セリフ：秘書

「畏まりました。そういうことでしたら、こちらまで来ていただけますでしょうか？」

「妙義様は、会議の合間の 15 分間でしたら時間を空けてくださるとのことです。」

▼セリフ：式星妙義

「予定時間 3 分前か。手間をかけさせたな。（応接間に入ってくる）」

（『①フェイト』や『②イヌ』が登場している）

「それでなぜお前達がここにいる？目的はなんだ？」

（エミリーが誘拐されたことを説明した）

「なるほど、その少女には悪いことをした（少し思索する仕草を見せる）」

（扉の方で音がする。）

「誰だ？」

「全くしょうがない娘だ、入れ」

「だが、その不埒な輩を野放しにしておけば、再び娘に危害が及ぶ可能性がある。『③カタナ』への依頼を取り下げるつもりはない。」

「心当たりか？仕事柄、恨みを貰う相手は多い、心当たりもないわけではない。だが、それを示す事で私自身の不利益が発生する可能性がある。どうしたものか・・・」

（〈交渉〉の判定に成功した）

「仕方がない。お前達を信じよう。くれぐれも内密にな（「ブラックリスト」を AR 上に表示し、データをキャスト達へ転送する）」

「可能性がある面々をピックアップしておいた。様々な情報から推測するに（*8）、中でもこの【ホーラ】という男が最有力候補だ。先日までうちに在籍していたが、度重なる仕事の失敗で解雇を言い渡した。なんとも資質に欠ける男だったがな。」

▼セリフ：式星麗美

「お父様、私です。立ち聞きするつもりはなかったのですが・・・」

「失礼します。（室内へ入ってくる）」

「申し訳ありません。私がおっと気を配っていれば、その少女が私の代わりに攫われることもなかったかもしれません・・・」

「『③カタナ』様、私からも改めてお願いします。どうかその少女を助け出していただけませんか？」

（引き受けた）

「ありがとうございます。このお礼はまた改めて致しますわ」

◆処理

〈交渉〉〈コネ：式星妙義〉で目標値：14の判定を行わせる

成功→情報項目【ホーラ】を入手する。

◆結末

キャスト達が、応接間から出た所で、シーン終了

（*8）様々な情報を整理すると

この時点である程度、式星妙義は犯人の正体を掴んでいる。それでも、あくまでもこの一件は『③カタナ』に一任している。理由としては、表立って動くことで、ブラックハウンドを刺激したり、私的な理由で情報処理局を必要以上に動かす事を嫌ったと考えられる。

●イベント6：ご破算

条件：【ホーラ】【ゲラバ】の情報を全て得た

ルーラシーン

登場：不可

◆解説

前半は、ホーラ達が誘拐の取り違えに気づき慌てふためくシーン。後半は、セーフハウスに移動した後のシーン。ゲラバは〈社会：ストリート〉で『①フェイト』の制御値を目標に判定を行う。成功した場合、ホーラ達に『①フェイト』の情報が流れる。演出はアドリブで行う。ホーラは《不可触》を使用しセーフハウスに逃げ込む。

◆描写1

今はすでに使われていない廃工場。二人の男が話している。そう、誘拐犯の犯人、ホーラとゲラバだ。

▼セリフ：ホーラ

「人違いだと？！馬鹿な？人物認証アプリを使ったホロとの適合率は97%(*9) だったんだぞ！間違うはずはない」

「うるせい！おまえは黙ってろ。人質なら人質らしくしてろ（ゲシゲシとエミリーを蹴る）」

「うるせー！手じゃなく足だから問題はないだろ！それとアニキはやめろと何度も言ってるだろ？ボスと呼べ。ボスと！」

「『①フェイト』？誰だ？知ってるか？ゲラバ」

「ほ、ほう・・・（冷や汗）」

「こうなったら・・・奥の手を使うしかねーな（《不可触》を使用する(*10)）」

▼セリフ：ゲラバ

「アニキ、さすがに子供に手をあげるのは可哀想じゃないですかい？」

「へ、へい！ボス」

「へい！ちょっとお待ちを（タップを取り出し）」

「いすれにしてもやばいですぜい、アニキ。ブラックハウンドの奴らも嗅ぎつけたみたいでここに来るのも時間の問題ですぜい」

▼セリフ：エミリー

「だから、さっきから人違いだって言ってるでしょ！あたしみたいなスラムの子を誘拐しても身代金なんて出ないもん」

「ふん・・・すぐに『①フェイト』が助けに来てくれるもん。『①フェイト』が来たらあんた達なんてぶっとばしてくれるんだから」

◆処理

ゲラバに〈電腦〉で判定を行わせる。目標は、『①フェイト』の制御値

「(成功した)『①フェイト』…聞いたことがありますぜい(*11)」

「(失敗した)『①フェイト』…どうやら強力なプロテクトがかかっていて情報が抜き出せそうにありませんぜ」

◆描写2

ホーラ達は、エミリーを連れてイワサキの工場員時代に使っていたセーフハウスに移動する。市街地から離れた小屋の中、明かりをつけるとそこにはしばらく滞在できる食料、生活用品一式が揃っている。

▼セリフ：ホーラ

「ここはかつて俺がイワサキの工場員時代に使っていたセーフハウスだ」

「今でも名義はイワサキになっている。ここなら、警察もイワサキにも気づかぬ。とりあえずほとぼりが冷めるまでここでおとなしくしているさ」

「更に念には念を入れて、通り道の要所には腕利きの傭兵を雇ってある。ここにたどり着くことは有りえない」「がはは、当然だろ？まあ、本物の麗美はその頃にまだ誘拐して、今度こそ身代金をガッポリ・・・と」

「あん？なんだ？ガキ。また痛い目に合いたいのか？」

▼セリフ：ゲラバ

「ここまで準備しているとは・・・さすがアニキ！いいやボス！」

▼セリフ：エミリー

「あんた達ばっかじゃないの・・・」

（ホーラに蹴られた）「ううう・・・『①フェイト』早く来て・・・」

◆結末

セーフハウスの周りは木々に囲まれひっそりと静まり返っている

(*9) 適合率は97%

なぜ取り違えたのか？①照合に使ったアプリが旧式で容姿や年齢など限られた情報までしか絞り込めなかった②位置情報アプリを用いていたが、直前に確認せず、近くに麗美本人がいた③ホーラの性格による勘違いなどの理由が考えられる。

(*10) 《不可触》を使用する

《不可触》を打ち消すには神業が必要だと伝える。使用する神業は《真実》を想定している。

(*11) 聞いたことがありますぜい

判定に成功した場合、『①フェイト』の特徴を簡単に伝える。



RLガイド

本シナリオの展開は、オープニングで誘拐の対象が取り違えられる所から始まり、序盤から今後の展開がある程度予測できるようになっている。敵ゲストであるホーラは自分勝手な悪人ではあるが、どこか抜けている所があり、憎めないドジな性格を持ち合わせている。RLはホーラとゲラバのコミカルに演出し、アクトを盛り上げるとよいだろう。

▼『①フェイト』について

オープニングでいきなりヒロインを攫われるという災難に見舞われる。それを嫌がるPLもいるかもしれないが、その場合は、シナリオの都合なのでかっよく助け出してほしい、という風に説明してあげると納得してもらいやすい。RLは、ヒロインであるエミリーを助け出す動機をうまく持たせてあげるとよい。

▼『②イヌ』について

仕事を受けた直後に、妙義から圧力がかかり、ブラックハウンドの直接的な支援が受けられない状態にある。キャストが動きやすいように、レイからの個人的な信頼があることやキャノンボールを殲滅させたという実績を強調するとよい。

▼『③カタナ』について

依頼人から誘拐犯の始末を依頼される枠である。実際には誘拐されたのはエミリーであり、麗美が誘拐されたわけではないが、父親である妙義は娘に再び危険が及ぶ可能性がありその芽を摘み取ろうとしている。リサーチフェイズでは、孤立しがちなので、タイミングを見つけて合流を促すと良い。

■情報項目

リサーチフェイズ開始時に調べることができる情報項目は以下のとおり。

『①フェイト』：エミリー

『②イヌ』：キャノンボール、ヤオヨロズモール誘拐事件

『③カタナ』：式星妙義、ヤオヨロズモール誘拐事件

◆エミリー

〈社会：ストリート〉〈コネ：エミリー〉

- 10 レッドエリアのスラムに住んでいる 14 歳の少女。エミリーの父は、出稼ぎの為に、10 年前家族と共にヴィル・ヌーヴから N◎VA へ移り住んだが、その 1 年後に仕事に事故死している。現在は、母親と二人暮らしで貧しいながらも、ヤンチャな友達にも囲まれ、日々を懸命に生きている。
- 12 『①フェイト』の事務所を遊び場にしており、よく他の友達と一緒に遊びに来る。愛読書は子供向けの週刊誌『ニューロキッズウィークリー』。ただ最近は少し忙しいのか以前より遊びに来る頻度が少なくなっている。
- 14 最近何かの【目的】で、夢島にあるネヴァーランドに頻繁に出入りをしていたようだ。

◆エミリーの目的

〈社会：ストリート〉〈コネ：エミリー〉

- 12 ネヴァーランドのゴミ山でジャンクパーツのサルベージ作業を行っていた。ゴミ山では、鋭利な金属片や危険物なども散乱しており、作業の過程で体中に擦り傷ができることもある。決して割のいい仕事ではなく、賃金は 3 日働いて 1 シルバー程度である。
- 14 エミリーの母親は病気にかかっており、彼女を元気づけるためにアクセサリーをプレゼントしようと思っていた。最近、『ニューロキッズウィークリー』で見たヤオヨロズモールに興味を持っておりここでプレゼントを買おうと思っていたようだ。

◆式星妙義

〈社会：社交界、警察〉

- 10 イワサキ情報処理部のエグゼク◎。冷静な性格で感情の起伏は少ない。
- 12 【式星麗美】という 14 歳の娘がいる。とても溺愛しており、不自由なく育ててきた。
- 14 イワサキにとって敵対勢力となる工作員を派遣し、排除を行う仕事の責任者。フリーの荒事屋『③カタナ』とも深い繋がりがあり、最近何かの仕事を依頼したようだ。

◆キャノンボール

〈社会：ストリート、警察〉〈コネ：レイ〉

- 10 ミッドナイトロードに出没する高速強盗団。ブラックマーケットで調達した銃火器を用いて輸送車を襲撃し、瞬間に積み荷を強奪する犯罪を行っている。
- 12 その戦闘力は、高く並の警察では歯が立たなかったが、先日行われたブラックハウンドの一大包囲作戦によりほとんどの構成員が逮捕されキャノンボールは解散を余儀なくされた。
- 14 この際、逃げ延びた者が何名かおりスラム街に身を隠したという。

◆ヤオヨロズモール誘拐事件

〈社会：ストリート、警察〉〈交渉〉〈電腦〉

- 10 イワサキのエグゼク【式星妙義】の娘【式星麗美】が誘拐されたとされる事件。ヤオヨロズモールの防犯システムより被害者のモニタージョウが作成され、ウェブ経由でブラックハウンドにデータが送られた。ただちに『②イヌ』が事件現場に派遣されたようだ。
- 12 しかし、その後、式星妙義より「誘拐事件は発生していないので捜査を中止するように」という圧力がかかり、初動捜査は行われていない。誘拐事件現場に行けばより詳細な情報を得られるかもしれない。[事件現場]のアドレスを入手した。
- 14 現場付近の宣伝用ライブカメラの配信画像を見ると、付近で『①フェイト』が映っている。事情を聞けば何かわかるかもしれない。

◆誘拐事件の詳細

〈社会：ストリート、警察〉〈交渉〉〈電腦〉

- 10 事件現場の防犯カメラを解析した所、誘拐事件で使用された車両は、ワゴンタイプのもので、改造されたボックスファミリーのような。
- 12 登録車両ナンバーと型式を照合した所、乗員定員は 4 人、後部の広い庫内スペースには CG21 (TNX249) という搭載兵器を積んでいるようだ。高速強盗団【キャノンボール】が所持していた車両と酷似している。
- 14 モンタージョウを解析して入手した市民 ID を照合した所、被害者は【エミリー】という名の C-ランク市民の少女のようだ。
- 16 これだけでは情報がやや不足している。誘拐犯を絞り込むにはまだまだ時間がかかりそうだ。ただ、個人が名指しで狙われたことから、誘拐犯は【式星妙義】に恨みを抱く人物の可能性が高いと考えられる。該当人物の情報は【式星妙義】自身から聞き出す必要があるだろう。

◆式星麗美

〈社会：社交界、警察〉

- 10 【ヤオヨロズモール誘拐事件】の被害者とされるグリーンエリアの新麻布十番街に住んでいる14歳の少女。
- 12 父親は、イワサキに所属するエグゼク【式星妙義】である。
- 14 子供向けの電子雑誌『ニューロキッズウィークリー』のモデルをやっていたことがあり、一部の読者の中では有名。ツインテールの髪型が特徴で真似する女の子も少なくはない。

◆ゲラバ

〈社会：ストリート、警察〉

- 10 今回の誘拐事件を計画したホーラの片腕で、ヴィークルを操るカセ〇。
- 13 元高速強盗団"キャノンボール"の一員だったが、ブラックハウンドの一大包囲作戦で壊滅して以来、密かに姿を消していた。
- 16 自らヴィークルをチューンナップやメンテナンスを行う優秀なタタラ●でもあり、ホーラに声をかけられた理由もその腕を見込まれたからだ。
- 18 "キャノンボール"を壊滅させたブラックハウンドを恨んでおり、その機会を窺っていた。(神業変更技能〈復讐者〉を取得している)

◆ホーラ

〈社会：ストリート、警察〉

- 10 今回の誘拐事件の主犯と思われる男。
- 12 元イワサキ情報処理部に所属していたクグツで、式星の部下だった。主に敵対勢力の要人の排除などの仕事をしていたが、最近、素行に問題があり度重なる命令違反により式星から解雇されている。
- 14 剣の腕は自己流だが社内では一定の評価を得ていた。一方で頭脳労働は苦手で、ターゲットの取り違いや爆発物の解除コードでのタップの誤操作などでイワサキが被った被害は小さくない。しかし、本人はそれを全く理解しておらず、解雇を言い渡した式星妙義を恨んでいたという。
- 16 ギャング団の用心棒などをして生活費を工面していたようだ。また、最近、一攫千金の計画を思いつき、【ゲラバ】を含む複数の腕の立つ男達を集めていた。

クライマックスフェイズ

CLIMAX PHASE

●クライマックス

◆解説

キャスト達がホーラのセーフハウスに乗り込むシーン。セーフハウスの場所は《不可触》によって隠蔽されているが、《真実》等の神業を打ち消すことで向かうことができる。一通り会話を済ませた後、カット進行となる。

敵はホーラ、ゲラバ、カブトワリトループ20人2グループ、ホーラは近距離、ゲラバとカブトワリトループは中距離に位置している。

◆描写

セーフハウスに移動しすっかり安心しきっているホーラ。一方、少し不安そうな表情を浮かべるゲラバ。すっかり日も落ち、辺りは夜の帳が下り始める

▼セリフ：ゲラバ

「しかし、ボス・・・今更かもしれないませんが・・・セーフハウスに潜伏するなら傭兵とかわざわざ雇う必要

あったんですかねい？」

「いや、そもそも来る予定もない奴らを迎撃する必要もないですし、万が一捕まったりして口でも割らされたらこの場所も見つかっちゃうんじゃないですかい？」

「まあ、ボスがそういうなら・・・(首を傾げ)」

▼セリフ：ホーラ

「あー?!」

「う、うるせー!! 俺が雇った傭兵は忠誠を誓っているやつらばかりだ。そう簡単に口を割るわけがねーだろ! 少しは俺のことを信用しろ」

「ゲラバ、おまえがそこまで疑うっていうなら、奴らに状況を確認してみようじゃねーか(ポケットロンを取り出す)」

「どうした? 応答しろ! ちっ一体どうなってやがる(*12)」

(*12) 一体どうなってやがる

おそらく見張りの傭兵は侵入したキャスト達によって応答できない状態になっているのだろう。

(キャストが登場する)**▼セリフ：エミリー**

「『①フェイト』！やっぱり来てくれたんだね」

▼セリフ：ホーラ

「てめーら！どうして、ここがわかった？」

「だが、見つかったらにはただで済ますつもりはねー」

（倒された）「おまえらさえ邪魔をしなければ・・・」

▼セリフ：ゲラバ

「やっぱりこうなるんですぜい・・・（小声）」

（イヌに対して）「あーおまえはあの時のイヌ！おかげで、うちのチームは！」

（倒された）「やっぱり悪いことはできないもんですぜい・・・」

エンディングフェイズ

ENDING PHASE

それぞれのエンディングの一例を示す。各キャストに聞いて希望がある場合、そちらを優先してよい。

●エンディング1：その後

◆描写

『①フェイト』のエンディング。キミはエミリーと再びヤオヨロズモールにやってきた。今度こそお目当ての物が手に入るだろう。その手はしっかり握られていた。

▼セリフ：エミリー

「このブローチはどう？これなら、お母さんも喜んでくれると思うわい？」

◆結末

『①フェイト』が何かを答えたら、エミリーは微笑んだ所でシーン終了

●エンディング2：一難去って・・・

シーンプレイヤー：『②イヌ』

◆描写

『②イヌ』のエンディング。ここはブラックハウンドの基地。キミはレイに今回の事件が解決したことを報告する為にやってきた。

▼セリフ：レイ

「おー『②イヌ』か。そんな扉の前に立っていないで入れ」

「今回は、色々と骨を折らせてしまって悪かったな。だが、おかげで命が一人救われた」

「休暇の1つであげたいところだが、また早速仕事入ったところだ。おまえが担当したいか？」

◆結末

『②イヌ』が何かを答えた所で、シーン終了

●エンディング3：さらなる闇

シーンプレイヤー：『③カタナ』

◆描写

『③カタナ』のエンディング。ここは中央区オフィス街のイワサキアーコロジーの255階。キミは依頼主に今回の事件が解決したことを報告する為にやってきた。

君に背を向けつつ外の景色を眺める一人の男が立っていた。

▼セリフ：式星妙義

「時間ぴったりだな。『③カタナ』」

「報告は既に聞いている。ご苦労だったな」

「くっくく、全くフリーにしておくには惜しい腕だ。何度聞いても答えは同じかもしれないが、うちに来る気はないか？」

◆結末

『③カタナ』が何かを答えた所で、シーン終了

ホーラ

レッガー○、カタナ●、カブト

▼設定

「金のあるやつから、金を奪って何が悪い」

元イワサキの工作員。今回の誘拐計画の主犯である。イワサキを解雇されたのは、自らの仕事ぶりのせいだが、反省は全くしておらず、自分勝手な性格な持ち主である。上司である式星妙義を逆恨みしている。

▼神業

■不可触 □死の舞踏 □難攻不落

▼能力値 / 制御値

♠理性：6 / 12 ♣感情：3 / 12

♥生命：8 / 15 ♦外界：4 / 10

▼戦闘データ

【CS】 8 【AR】 1

【防御力】 S:1 / P:1 / I:2

▼一般技能

3♠♥♦ ★白兵

2♠♥♦ ★回避

▼スタイル技能

2♠♥♦ 居合い (TNX204)

2♠♥♦ ハヤブサ (TNX204)

3♠♥♦ †修羅 (TNX205)

3♠♥♦ †旋風撃 (TNX205)

▼アウトフィット

・シャドウソード※電:15 / 隠:14 (TNX234)
攻:S+7 受:1 射程:至近 前腕に仕込むサイバーソード

・アーマージャケット電:12 / 隠:12 (TNX238)
防(S/P/I):1 / 1 / 2

動きやすさを重視したジャケット

▼戦闘プラン

セットアップで自身を対象に、〈ハヤブサ〉を使用。【CS】をカット終了まで+[判定に使用したカードの数字]する。

メジャーアクションでは〈白兵〉〈修羅〉〈旋風撃〉を組み合わせ、至近への範囲(選択)の対象に物理攻撃を行う。判定値は+2で、ダメージは[S+7]+[差分値ダメージ]。

神業〈死の舞踏〉は最も攻撃力の高いキャストへ即死系神業として使用し、〈難攻不落〉は、ホーラがゲラバが戦闘不能ダメージを受けた際の防御系神業として使用する。

ゲラバ

カゼ○、タタラ●、レッガー

▼設定

「あっしはどこまででもアニキに付いて行きますぜ」

ホーラの片腕であり、元キャノンボールのメカニック。『②イヌ』達によってチームの解散を余儀なくされた為、ブラックハウンドを嫌っている。メカニックとしての腕は立つものの、気弱な性格の為、自ら中心になって動くタイプではない。

▼神業

■脱出 □タイムリー □不可触

▼能力値 / 制御値

♠理性：7 / 14 ♣感情：4 / 13

♥生命：5 / 11 ♦外界：5 / 13

▼戦闘データ

【CS】 8 【AR】 1

【防御力】 S:4 / P:3 / I:6

▼一般技能

4♠♥♦ ★射撃

3♠♥♦ 電脳

2♠♥♦ ★操縦:地上車両

▼スタイル技能

1♠♥♦ 復讐者 (CTL76)

2♠♥♦ イカサマ (TNX212)

2♠♥♦ 曲芸走行 (TNX196)

2♠♥♦ ロケットスタート (TNX196)

2♠♥♦ 鉄砲玉 (TNX212)

▼アウトフィット

・CG21電:15 / 隠:- (TNX236)
攻:P+8 受:- 射程:近～遠 FA:3

車両用の30mmチェーンガン

・アーマージャケット電:12 / 隠:12 (TNX238)
防(S/P/I):1 / 1 / 2

・ボックスファミリー電:14 / 隠:- (TOS127)
防(S/P/I):3 / 2 / 4 SF:2

搭載兵器が載せられるように改造されたワゴン車

・マニューバV電:15 / 隠:14 (TNX249)
ヴィークルのバランスを調整し操縦者への負担を減らす。

ヴィークルによる制御値修正を0にする

▼戦闘プラン

セットアップで自身を対象に、〈ロケットスタート〉を使用。【CS】をカット終了まで+4する。

メジャーアクションでは〈射撃〉〈鉄砲玉〉を組み合わせ、近?遠の対象にFA3で、物理攻撃を行う。判定値は+2で、ダメージは[S+16]。弾切れはしない。

ダメージを受けた際は、〈曲芸走行〉を使用し、肉体ダメージに[判定に使用したカードの数字]点軽減する。1カット1回まで。

神業〈不可触〉は、戦闘不能ダメージを受けた際に〈復讐者〉で攻撃を行った対象へ同様のダメージを与える効果として使用し、〈タイムリー〉は防御系神業として敵ゲストに使用すること。

工作員崩れ

カブトワリ6レベルトループ

▼設定

ホーラの隣れ縁で集められた工作員崩れ。金目当てで集められた為、決して士気は高くない。

▼能力値 / 制御値

♠理性：8 / 10 ♣感情：6 / 10

♥生命：8 / 9 ♦外界：9 / 11

▼戦闘データ

【CS】 6 【AR】 1

【防御力】 S:1 / P:1 / I:2

▼一般技能

2♠♥♦ ★回避

3♠♥♦ ★射撃

▼スタイル技能

2♠♥♦ クイックドロウ (TNX214)

3♠♥♦ †必殺の矢 (TNX215)

1♠♥♦ †バックアップショット (TOS100)

▼アウトフィット

・AKR48電:12 / 隠:3 (TNX235)
攻:P+6 受:- 射程:近～中 フルオート可能でFA2。

・アーマージャケット電:12 / 隠:12 (TNX238)
防(S/P/I):1 / 1 / 2

▼戦闘プラン

マイナーアクションでAKR48の弾倉交換(2カット目以降)。

メジャーアクションでは、〈射撃〉〈必殺の矢〉で近～中距離の対象にFA2で、物理攻撃を行う。判定値は+2で、ダメージは[P+8]+[差分値ダメージ]。

自分以外の敵ゲストが何らかの判定を行った時、〈バックアップショット〉を使用し、射程:近～中にいるゲストの判定の達成値+[達成値÷10+1]する。1カット1回。1アクト1回。

■本作品について

本作品は、株式会社エンターブレインより刊行された『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』や、その関連商品を取り扱った二次著作物（シナリオデータ）です。

『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』とその関連商品、および『ゲーマーズ・フィールド誌』は、有限会社ファースト・アミューズメント・リサーチの著作物です。

本書の内容はフィクションであり、実在する歴史上の人物、団体、地名などとは一切関係がありません。

また、本書は特定の思想、信条、宗教などを擁護あるいは非難する目的を持って書かれたものではありません。

■利用規定

本作品は無料で自由にアクトに利用することが出来ます。

ただし、シナリオを使用した際には必ず、作者にシナリオやアクトの感想を送ってください。

シナリオ製作者にとって、なによりの励みは感想を貰えることです。

ホームページ (<http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/>) の各シナリオのダウンロードボックス内のツイートボタンを押し、感想ツイートを投稿してください。

(このため、本シナリオを使用するには twitter アカウントが必要になります)

また、シナリオの利用の際には以下の規約をお守りください。

- ① シナリオの著作権は各シナリオの作者にあります。
- ② シナリオの再配布、商用利用はご遠慮ください。
- ③ 投稿されているシナリオを利用したリプレイやプレイ動画の公開、あるいはコンベンションイベントでの使用など、特殊な使い方に関しては事前に作者に連絡を取り、可否を確認してください。

トーキョーN◎VA THE AXLERATION 投稿型シナリオ共有サイト

NeuroCrowD

投稿シナリオ No.036 『A Side Street Story』

発行日：2017.7.9

執筆（著作権者） ぼろろっか

イラスト なし

企画 ニューロ／CD製作委員会

DTP まだら牛

素材 Z-design

連絡用メールアドレス：dapple_ox@gmail.com

サイトURL： <http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/>